

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
<b>大項目</b>	<b>3 教育方法</b>
<b>小項目</b>	3.0.1 授業を行う学生数
要素	会計大学院においては、少人数による双方向的又は多方向的な密度の高い教育が行われなければならないことが基本であることにかんがみ、一の授業科目について同時に授業を行う学生数が、この観点から適切な規模に維持されていること。
<b>小項目</b>	3.0.2 授業の方法
要素	会計大学院における授業は、次に掲げる事項を考慮したものであること。 (1) 専門的な会計知識を確実に修得させるとともに、事実即して具体的な問題を解決していくために必要な分析能力及び議論の能力、会計判断を関係当事者に正しく伝える能力その他の会計職業人として必要な能力を育成するために、授業科目の性質に応じた適切な方法がとられていること。 (2) 1年間の授業の計画、各科目における授業の内容及び方法、成績評価の基準と方法があらかじめ学生に周知されていること。 (3) 授業の効果を十分にあげられるよう、授業時間外における学習を充実させるための措置が講じられていること。
<b>小項目</b>	3.0.3 履修科目登録単位数の上限
要素	会計大学院における各年次において、学生が履修科目として登録することのできる単位数はモデルカリキュラム等を参考に各会計大学院で適切に設定すること。

## ○2009年度からの目標

1. クラスサイズについて、2005年度から2007年度の平均である17.2人前後を維持する。
2. 50名を超える履修者がいるクラスには、クラス分割クラス指定等の措置を検討する。

## ○指標

1. 各開講科目の履修者数